

「第3回 大村知事と語る会－三河山間地域の魅力発見－」主な提言にかかる県の対応(平成24年12月22日開催)

主な提言のポイント	県の対応
<p>伝統芸能などを通し山里の魅力を広く知ってもらうことで、交流人口を増やし、定住人口の増加につなげていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥三河地域の伝統文化や自然、地域魅力を都会の人たちに発信するため、平成25年度は、「三河の山里PR促進事業」として、奥三河地域でのイベントや県内各地でキャラバン隊によるPR活動を実施します。</li> <li>・花祭りの魅力を広くPRするため、「奥三河の花祭り情報発信事業」を実施し、花祭りの臨場感ある写真や解説が携帯端末で見られるサイトを、平成24年度末完成に向け取り組んでいます。</li> <li>・県ホームページ「あいコンシェルジュ」では、動画や静止画を活用して、地域の歴史・文化的観光資源や伝統的な祭りなどの情報発信を行っており、引き続き、幅広いPRに取り組んでいきます。</li> </ul>
<p>この地域には歴史や伝統とともに、若い世代が新しく生み出したものもたくさんある。和太鼓集団志多らのような新しい地域の魅力もこれから発信していかなければと思う。</p>	
<p>奥三河は、全体が一つのテーマパークのような楽しみ方ができるエリアなので、行政区に縛られない、目的に応じた情報発信をしていくべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年1月に、奥三河地域の観光情報を一体的に発信する「はっけん！奥三河navi」(フリーペーパー)を発行し、県内及び近隣県の道の駅や高速道路のSA・PAなどで配布しています。</li> <li>・平成25年3月に、東三河の魅力を盛り込んだ周遊コース(ハイキングコース等)を設定及び発信する観光案内冊子「ほの国とっておき探訪」を発行し、東三河8市町村及び各観光協会などで配布しています。</li> <li>・三河山間地域の魅力を、「自然」「文化」「グルメ」「体験」をテーマとして紹介する広報番組を、県ホームページの動画コーナー「あいちインターネット情報局」において配信するとともに、県機関(県民生活プラザ、県立図書館)において番組DVDの貸し出しを行っています。</li> </ul>
<p>設楽町には愛知県に2か所しかない原生林がある。きららの森と面ノ木というところで、こういうところのハイキングをPRするとよい。</p>	
<p>都市部のアンテナショップで山村の魅力が発信できるとよいと思う。アンテナショップにチラシやフリーペーパーを置いておけば、山里に関する必要な情報をそろえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年1月から「県産品アンテナショップピピット！あいち(名古屋市中区栄4 中日ビル地下1階)」で、三河山間地域の特産品をPRするコーナーを設置しました。平成25年度は、「三河の山里PR促進事業」でキャラバン隊による各地でのPR活動も実施していきます。</li> <li>・平成25年2月1日、2日に、三河山間地域の魅力を体感できる「三河の山里体感プラザinセントレア」を開催し、空港利用の方々にPRしました。</li> </ul>
<p>地域の観光資源を有意義に活用し、活性化させることで地域振興にもつながり、それがまた地場の産業復興や地域雇用、環境・資源の大切さを学ぶよい機会になるのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三河山間地域では、香嵐溪やくらがり溪谷を始めとする多様な観光資源や特産品を「地域産業資源」として指定した上で、あいち産業振興機構に設置した「中小企業応援ファンド」により、それらを活用した中小企業等の新事業展開を支援しています。</li> <li>・県ホームページ「あいちの都市・農村交流ガイド」では、主に日帰り型のグリーン・ツーリズムを推進するため、県内農山漁村の風景・自然、農林水産物、体験施設などを地域資源として730件、地域資源を巡るモデルルートを57件紹介しています。</li> </ul>
<p>ファームステイについて、山村で農業などの山里生活体験やバーベキューとか家庭料理を味わえるような工夫をしたらすごく面白いと思う。</p>	
<p>奥三河をもっと知ってもらうために、体験メニューを充実させるとよい。家族でできる、長期でできる体験メニューがあるとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、関係市町村、大学、民間機関等で構成する「愛知県交流居住センター」では、田舎暮らし体験イベントなど、都市部住民の受け入れを希望する集落等を支援するための受入集落支援事業を実施しています。</li> </ul>
<p>若者が定住するには仕事につきものなので、林業など山の仕事が成り立っていかなければならないと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材生産コストの削減に不可欠な生産基盤である林道整備や高性能な林業機械の導入を推進することで、県産木材の生産量増大を図っています。</li> </ul>
<p>奥三河は多くの自然が残っており、手つかずの山が多いので、この山や間伐材を活かした仕事を増やせば、移住者も増えるのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食と緑の基本計画2015」に基づき、林業の担い手の育成・確保や林業事業体の強化、木材の安定供給、「あいち木づかいプラン」による県産木材の利用拡大などの林業振興や森林保全に係る各種事業を実施しています。</li> </ul>
<p>林業への転職や山間部への移住を決意できたのは、情報を豊富に入手できたから。これから移住を考える人のためにも、生きた情報を入手しやすい環境を作ることが重要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県交流居住センターでは、三河山間地域における交流居住に関心のある都市部住民への問い合わせ対応や、現地見学ツアーなどの交流居住マッチング事業を実施しています。</li> <li>・愛知県林業振興基金では、常時雇用アドバイザーを配し就労相談を実施するほか、就業希望者と林業事業体を取り持つ就労相談会を実施しています。また、林業作業に必要な知識・技能を習得するための各種研修や講習会を開催し、熟練度や経験年数に応じた中核的な作業員から現場管理者までを育成しています。</li> </ul>
<p>ブログやツイッターで情報発信すれば、若い人たちが気軽に見てくれる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県交流居住センターのホームページには、三河山間地域に住み、又は活動している地域住民等が発信するブログを集約した「三河の山里だより」を掲載しています。</li> <li>・東三河県庁のポータルサイト「穂っとネット東三河」及びフェイスブックページで、東三河の地域情報を発信しています。</li> </ul>
<p>田舎暮らしは本当に素敵で幸せだということを都会の人たちに知ってもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度に実施した「あいちの山里で暮らそう80日間チャレンジ」では、あいちの山里の様々な地域の魅力を参加したメンバーの生の声として、フェイスブックやツイッター、ユーチューブなどを用いて発信しました。</li> </ul>